

● 2019年度 診療科一覧

診療科	役職	氏名	診療科	役職	氏名
呼吸器内科	部長	本村 文宏	心臓血管外科	理事・部長	中村 雅則
消化器内科	部長	中村 路夫	皮膚科	部長	清水 聡子
循環器内科	部長	横式 尚司	泌尿器科	部長	田中 博
腎臓内科	副部長	島本 真実子	腎臓移植外科	理事・部長	原田 浩
糖尿病・内分泌内科	部長	和田 典男	産婦人科	部長	奥山 和彦
リウマチ・免疫内科	部長	片岡 浩	眼科	理事・部長	今泉 寛子
血液内科	部長	山本 聡	耳鼻咽喉科・甲状腺外科	部長	吉村 理
精神科	副部長	高田 秀樹	リハビリテーション科	部長	奥村 潤一郎
脳神経内科	部長	田島 康敬	感染症内科	部長	永坂 敦
小児科	部長	佐野 仁美	放射線治療科	部長	池田 光
新生児内科	部長	水島 正人	放射線診断科	理事・部長	寺江 聡
外科	部長	大島 隆宏	麻酔科	部長	伊東 義忠
乳腺外科	部長	大川 由美	緩和ケア内科	副院長	萩原 綾希子
整形外科	部長	奥村 潤一郎	歯科口腔外科	部長	小野 貢伸
形成外科 下肢救済担当	部長 部長	川嶋 邦裕 堀内 勝巳	病理診断科	部長	辻 隆裕
脳神経外科	部長	瀧上 真良	救急救命センター	部長	佐藤 朝之
呼吸器外科	部長	田中 明彦	臨床研修センター	副院長	西川 秀司

退任のご挨拶

日頃、市立札幌病院に対して暖かいご支援、ご指導をいただきありがとうございます。

さて、私は去る3月31日付で定年を迎え、札幌市病院事業管理者・市立札幌病院長の職を辞し、後進に委ねることといたしました。事業管理者・院長在任中は多くのご支援、ご協力を賜りありがとうございました。4月からは、顧問（非常勤特別職）という立場で、今まで行って

きた地域連携業務の相談役として週3、4日ほど勤務しております。また、非常勤嘱託医としても泌尿器科に勤務しており、外来、手術を担当しております。

今後も皆様の施設に地域連携業務の一環として訪問させていただくこともあると思います。その節には、どうぞよろしくお願ひいたします。

今後とも市立札幌病院に暖かいご支援を賜れますようお願い申し上げます、退任のご挨拶といたします。



顧問 関 利盛
(前 病院事業管理者)

編集・発行／2019年4月発行 市立札幌病院 地域連携センター運営委員会(事務局:札幌市病院局 地域連携センター) 〒060-8604 札幌市中央区北11条西13丁目 電話代表:(011)726-2211 FAX:(011)726-9583



創立150年の歴史を紡ぎ、新時代へと漕ぎ出す

新体制発足

SPECIAL

● 新体制発足のご挨拶 …… 病院事業管理者・病院長 向 井 正 也
副院長 西 川 秀 司
副院長 三 澤 一 仁
副院長 勝 見 真 澄
経営管理室長 菱 谷 雅 之

Information

● 2019年度 診療科一覧
● 退任のご挨拶 …… 関 利 盛

地域を支え、愛される病院を目指します



病院事業管理者
向井正也

このたび病院事業管理者・病院長に就任しました向井です。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、国鉄職員を父として札幌生まれの札幌育ち、その後も医局時代に地方への2年間余りの出張と2年半ほどのアメリカ留学を除けばずっと札幌在住です。生粋の札幌人として今年で創立150周年を迎える市立札幌病院の責任者に就任したことは大変感慨深いものがあります。しかしながら、ただ歴史が長ければ良いわけではなく、当院には多くの課題が山積みとなっています。その解決に向けて職員が一体となって努力をしているところですが、当院は地域医療支援病院ですので、皆様方の支えがなくては成り立ちません。

三次以外の救急の受け入れに加え、地域完結型医療を目指すためにも急性期の入院加療を要する病態はぜひ当院を入院先に選んでいただきたくお願いいたします。病態が改善して落ち着けば地域のかかりつけの先生に逆紹介して診療いただきたいと考えております。

令和という新しい時代を迎えるに当たり、超高齢化社会の中、市民のために高度急性期病院として地域で医療を支える一翼を担う役割を果たしたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



副院長
西川秀司

このたび副院長を拝命いたしました西川秀司です。

4月より地域連携センター運営委員会の委員長も務めさせていただきます。

地域の諸先生の皆様にはいつも患者さんのご紹介、逆紹介で大変お世話になっております。この場をお借りして御礼申し上げます。

地域連携センターは一部メンバーが入れ替わりますが、これまで通り職員一丸となって地域医療に貢献していく所存です。今後もDr to Drコールで連絡いただければ、時間外でも緊急で対応いたします。何かお困りの患者さんがいらっしゃれば、いつでも連絡いただければと存じます。また、当院はPET-CTをはじめ最先端の機器を取り揃えております。検査のみの依頼も受け付けておりますので、ご活用いただければ幸いです。

皆様、今後とも当院の地域連携センターをよろしくお願いいたします。



副院長
三澤一仁

平成31年4月1日副院長を拝命いたしました三澤一仁です。私は昭和59年に北大医学部を卒業し北大第一外科に入局、関連病院では苫小牧市立病院、中標津町立病院、旭川厚生病院、帯広協会病院、美唄市立病院、札幌社会保険総合病院(現北辰病院)などを回り、その間に大学病院に3回計4年、米国ミシガン州Borgess Medical Centerでリサーチフェローとして1年3か月勤務してきました。

市立札幌病院に赴任して丸21年がたちましたが、これまで消化器外科を中心に診療してきました。副院長としてこれからは手術室運営委員会、医療安全対策会議、病床検討委員会などを担当します。

市立病院の理念、基本方針や役割を果たすべく努力していく決意でございますのでご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。



副院長
勝見真澄

看護職副院長の勝見真澄です。看護部、看護部以外の看護職員の指導・育成への協力、患者サービスや労働安全に関する委員会を担当しています。

本年4月、当院は新たな体制でスタートしました。中期経営計画の実行開始の年であり、『市民のため「最後のとりで」として地域の医療機関を支える』という使命を果たすべく、様々な取組みを進めて参ります。救急患者の受入れのための新たな看護体制の整備、ベッドコントロールの強化はすでに動き出しており、今後は担当委員会において、入院機能や患者サービスの充実に取り組む計画です。

地域医療機関の皆様や住民の方々には信頼される病院となれるよう努力する所存ですので、引き続きお力添えをいただけますようお願い申し上げます。



経営管理室長
菱谷雅之

日ごろ、市立札幌病院に対しまして、暖かいご支援をいただき、深く感謝申し上げます。経営管理室長として2年目を迎えました。

今年は、当院が明治2年に開設して以来創立150周年を迎えます。その節目となる年の4月に新院長と2人の新副院長が着任し、フレッシュな顔ぶれで引き続き適切な病院運営に努めてまいりたいと思います。

現下、病院や医療をめぐる環境は厳しい状況が続いておりますが、当院では昨年度策定した「中期経営計画」に基づき、経営健全化に向けた取組を着実に実行しながら、高度急性期医療を担う地域医療支援病院として、地域の皆さまから一層信頼される医療の提供をしていけるよう、職員一丸となって努力してまいりたいと思います。

今後とも、当院へのご協力、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。